

平成26年度いしかわ里山創成ファンド事業 採択事業一覧

1 里山里海の地域資源を活用した生業の創出(16件)

(50音順)

申請者	代表者氏名	事業概要
生き生き工房ねねの会 (七尾市)	代表 海老 恵子	【能登島の食材を使った「田舎ごつつお弁当」による地域の活性化】 H6年から、地域の女性加工グループとして、能登野菜の栽培に加え、収穫した農産物を使った弁当などの加工品を開発し、イベント時に販売 ⇒これまでの弁当づくりのノウハウを活かし、地域食材にこだわった季節感を出す弁当を開発するとともに、高齢者宅配なども実施
有限会社池口農園 (輪島市)	代表取締役 池口 大樹	【里山に自生するサルナシ果実を使った加工品開発と販路開拓】 H21年から、里山に自生するものの市場に出回らない希少なサルナシの栽培研究を実施 ⇒サルナシの特産品化に向け、栽培技術確立のほか、地元の食品企業と連携したサルナシを使ったジャムやアルコール類の商品開発
石川かほく農業協同組合 (津幡町)	代表理事組合長 井上 信一	【幻の紫インゲン豆“いけなら紫”の復活と加工品開発】 様々な料理に合うと評判のいけなら紫を地域で栽培しているが、生産量が小規模(生産者7戸)で、自家用の域を超えるに至っていない ⇒いけなら紫の特産品化に向けた供給体制の確立のほか、地元菓子店や大学生と連携した加工品・家庭用レシピ開発などによる市場の創出
内浦町農業協同組合 (能登町)	代表理事組合長 中谷 伸夫	【菜種油のブランド化による里山の保全・再生】 H25年から、耕作放棄地解消に向け菜の花を栽培し、収穫した菜種からオイルの製造販売を実施 ⇒オイルの生産効率化を図るとともに、オイルの付加価値向上に向け、食品企業と連携し、地元食材を使ったドレッシング等の商品開発
株式会社奥能登塩田村 (珠洲市)	代表取締役 横道 嘉弘	【揚げ浜式製塩法による「変わり塩」の商品開発、ブランド化】 伝統的な揚げ浜式製塩の継承に向け、付加価値の高い商品の検討をこれまで実施してきたところ ⇒能登の特色ある原料とコラボした「いしる塩」「ハーブ塩」「焼き塩」等の変わり塩の商品開発、ブランド化を行い、首都圏に販路を拡大
加賀農業協同組合 (加賀市)	代表理事組合長 久保田 清忠	【「味平かぼちゃ」「ブロッコリー」の規格外品を活用した商品開発】 振興品目として味平かぼちゃ、ブロッコリーを選定し栽培を進めており、産地となっているが、規格外品が発生しており、農家からは有効活用を求める声があるほか、食品企業からは汎用性の高いペーストのニーズがある ⇒規格外品を有効活用した、丸谷焼とコラボした3年熟成かぼちゃ焼酎や、ブロッコリードレッシング等の商品開発
株式会社くさのね (白山市)	代表取締役 中出 喜美子	【未利用林産物クロモジを活用した「白山のかほり」商品づくり】 間伐作業の支障となっている白山麓に自生するクロモジの香りには、鎮静効果があり、近年、女性を中心に人気 ⇒白山の水によるクロモジの蒸留水を活用したルームスプレー等の商品開発を行い、白山麓の香り商品を県内外に発信

1 里山里海の地域資源を活用した生業の創出(続き)

申請者	代表者氏名	事業概要
有限会社クリエイト (穴水町)	代表取締役 森本 敬一	【能登ワイン用ぶどうの葉の機能性に着目した「ぶどうの葉茶」の開発】 能登ワイン用ぶどう葉に、ポリフェノール等の健康成分の含有量が多いことに着目 ⇒商品力向上に向け、地域に自生するヤマブドウの葉とブレンドしたぶどう葉茶を商品開発し、県内外に販売
谷川醸造株式会社 (輪島市)	代表取締役 谷川 貴昭	【大浜大豆で作る醤油、味噌、ドレッシングの開発、販路開拓】 H23年、長年途絶えていた自社でのもろみづくりを再開し、昔ながらの伝統的な製法による醤油、味噌づくりができる体制を整備 ⇒伝統的な製法に加え、大浜大豆、天然塩など、奥能登産原料にこだわった醤油、味噌、ドレッシング等の商品開発
てんばちゃん加工部 会 (金沢市)	代表 小島 由美子	【加賀野菜を使ったおやき開発、販路開拓】 H23年から、女性加工グループとして、地域で収穫された農産物を使った加工品を開発しており、二塚からしなのおやきを直売所で販売したところヒット商品となっている ⇒金時草、竹の子、つる豆等の他の加賀野菜を活用し、北陸新幹線開業後の加賀野菜おやきシリーズを商品開発
刀裨建設株式会社 (水産部 刀裨沖ノ) (輪島市)	代表取締役 刀裨 利雄	【海女獲りアワビの駆除マダコを活用した加工品「あわびたこ」の開発】 アワビを食害するマダコの駆除を進めているが、当該地域で獲れるマダコは小さく価格も安いいため、駆除が進んでいない ⇒海女文化の保全に向け、小ぶりなマダコの特徴を活かした加工品「あわびたこ」の商品開発
根上農業協同組合 (能美市)	代表理事組合長 又村 一夫	【海藻など能登の食材を使った「ごはんば〜が」の開発、販路開拓】 H17年、根上産食材を使った「ごはんば〜が」の商品化がヒット H26年、能登の事業者から、能登産食材を使って商品を作ってほしいという要請のもと、能登の食材をつかったごはんば〜がを開発したところ好評 ⇒能登の事業者と連携し、能登牛、牡蠣などの能登ならではの食材を使ったごはんば〜が等の新たな魅力ある特産品の開発
農事組合法人能登花見月 (中能登町)	代表理事 中山 伊知良	【中山間地域の特色を活かしたオーダーメイド米・中国野菜の販売】 花見月地区では、特別栽培米「能登眉丈花見月米」や野菜「能登花見月」を栽培、販売 ⇒こだわりを持った高品質の食材を求める飲食店の要望に応じた品種・栽培方法によるオーダーメイド米・国産中国野菜販売のビジネス展開
はくい農業協同組合 (羽咋市)	代表理事組合長 中村 清長	【「のと里山自然栽培」商品のブランド化、販路開拓】 世界農業遺産の認定を機に、自然の力を最大限引き出すノウハウを伝授する「のと里山農業塾」を開講 ⇒能登発の自然栽培認証制度を創設するとともに、多様なニーズ、販売チャネルに対応できる販売体制の整備

1 里山里海の地域資源を活用した生業の創出(続き)

申請者	代表者氏名	事業概要
民宿ふらっと (能登町)	代表 船下 智香子	【日本最古の魚醤油「いしり」を使った新たなギフト商品の開発】 能登の伝統的な食文化である「いしり」は、一般的になじみが薄く、いしりを使った商品が少ないほか、いしりの製造過程で発生するいしりと同程度の旨み成分を含有する残渣は廃棄されている ⇒いしり文化継承に向け、いしりを使った漬物やポテトスープなどのイタリアン商品のほか、水産総合センターと連携し、残渣を利用した調味料等のギフト商品の開発
株式会社ゆめうらら (志賀町)	代表取締役 裏 貴大	【農業法人、酒造、大学生のコラボによる若者向け日本酒の需要開拓】 H25年、酒蔵メーカーと連携し、米や水などすべて能登産の原料にこだわった日本酒を試作し、今年初旬に販売したところ、好評 ⇒県内外の日本酒好きの大学生に酒米づくりから商品デザイン、販売まで関わってもらい、フェイスブック等を活用した情報発信による若者の日本酒需要の開拓

2 里山里海地域の振興

(1)里山里海地域を元気にするイベント支援(1件)

申請者	代表者氏名	事業概要
宝達山水源の森づくり 協会 (宝達志水町)	会長 谷光 一夫	【宝達山を舞台とした各種イベントの開催と保全のための担い手づくり】 能登最高峰の宝達山は、大変眺望が良いと評されるほか、多様な生態系を維持 ⇒宝達山の特長を活かした四季折々のウォーキングイベントや自転車登山イベントなどの開催を通じ、「美しい宝達山を守る会(仮称)」のファン(会員制)獲得と保全のための仕組みを構築

(2)里山景観の創造(1件)

申請者	代表者氏名	事業概要
奥のと里海日置 (珠洲市)	代表 新 弘之	【「黒瓦と下見板張り」をモチーフとした日置地区の景観保全】 美しい海岸線と伝統的な建築物が残る日置地区(狼煙、横山、川浦、折戸、木の浦)が景観形成重点地区に指定(H26年3月) ⇒地域が一体となって、伝統的な建築様式「黒瓦と下見板張り」を採用した施工を実施することにより、里山里海景観を整備